

# ■熊本県地域公共交通計画(方針)

令和3年3月に策定した熊本県地域公共交通計画の計画期間が令和7年度末で満了することに伴い、新たな地域公共交通計画の策定を行うもの。

## 1. 地域公共交通をとりまく現状と課題

### ■本県における地域公共交通の現状



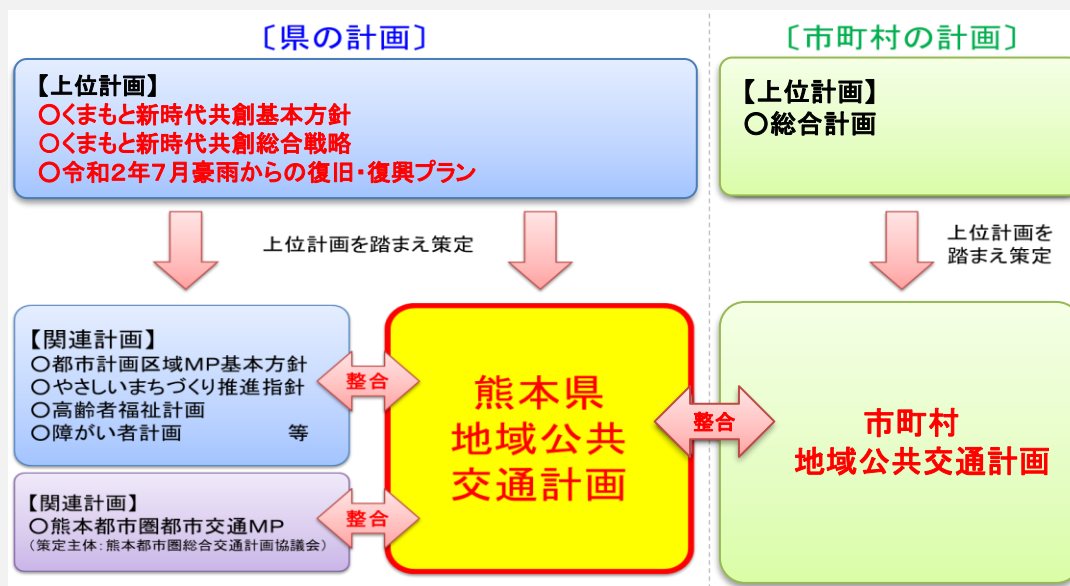
⇒今後さらに本格的な人口減少・高齢社会の到来に伴い、影響は増大する見込み  
⇒現在の公共交通網を“単に維持”していくことは不可能

これらの背景を踏まえ、**県内全域で地域の実情に応じた持続可能な公共交通網を“計画的に”構築**していくため、県・市町村・交通事業者等関係者の共通認識となる**次期熊本県地域公共交通計画**を、県が主体となってとりまとめ、具体的な取組を進めていく。

## 2. 計画期間 5年間(令和8年4月～令和13年3月)

## 3. 対象区域 熊本県全域

## 4. 計画の位置づけ 上位計画となる県の基本方針等を踏まえ、各市町村で策定された地域公共交通計画等とも整合を図りながら策定する。



## 5. 計画の基本的な方針

多様化する県民の移動ニーズを満たす、新たな公共交通体系の構築  
～積極投資によるモビリティの確保・拡充を通じた県民のQOLの向上～

## 6. 目指すべき将来像

交通の利便性向上により、全ての県民が自家用車に頼ることなく  
出かけたいときに出かけられ、商業、医療、教育等に不自由なく  
アクセスできる社会の構築

## 7. 計画の策定に当たっての論点

### 論点① 公共交通に対する安定的かつ戦略的な投資の実現 ～公共交通のサービス水準と行政による投資方針の明確化～

- ⇒ 各交通モードの位置づけを再定義、必要なサービス水準について議論
- ⇒ 上記サービス水準を実現するために必要な資源や手法等について議論
- ⇒ 行政の投資方針を明確化、恒久的な財源確保の方策を検討

### 論点② 持続可能な交通サービスの運営主体・運営方法のあり方 ～地方鉄道・バスの再構築、共同経営の拡大へ～

- ⇒ 地方鉄道の存続・活性化、バスの最適な運営について議論
- ⇒ 共同経営の枠組みをベースに、他の交通モードに対象を拡大する方向で検討

### 論点③ 公共交通の利便性向上に向けた取組み ～サービス水準の向上→利用者増→増収の好循環に向けて～

- ⇒ 交通空白の解消、公共交通の利用促進施策について議論
- ⇒ モビリティサービスの充実に係る施策の検討

## R7 計画策定スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
計画策定の業務委託、次年度予算要求		<div>事業者選定 プロポーザル</div>	<div>委託契約 締結</div>	<div>・委託事業者との打合せ ・（事業者）業務計画書提出</div>			<div>R 8 当初予算要求</div>					
業務内容				<div>情報把握・整理</div>	<div>骨子案へ反映</div>			<div>・修正、内容精査 ・素案に対する意見のフィードバック</div>			<div>最終案へ反映</div>	
				<div>・市町村アンケート調査 ・交通事業者ヒアリング</div>	<div>結果とりまとめ</div>							
					<div>施策の提案</div>	<div>検討</div>	<div>素案へ反映</div>					
計画（案）の策定					<div>骨子案 （基本方針、 目標の設定等） とりまとめ</div>		<div>素案 とりまとめ</div>			<div>最終案 とりまとめ</div>		
熊本地域公共交通協議会（事務局）			<div>● 第1回協議会 （計画策定のスケジュール、 方向性について）</div>			<div>● 第2回協議会 （計画の骨子案（基本方針、 目標の設定等）について）</div>		<div>● 第3回協議会 （計画素案について）</div>			<div>● 第4回協議会 （計画最終案について）</div>	
											<div>パブコメ</div>	<div>計画公表</div>